

## 第 22 号

平成 15 年 7 月 1 日

〈発 行〉  
（社）江田島町シルバ－  
人 材 セ ン タ ー

江田島町中央 1-15-15  
江田島町シルバ－ワークプラザ  
TEL (0823) 42-5211  
FAX (0823) 42-5051

# シルバ－ 江田島



ガーデニング講習会

## SP事業について

山佐 一男

この写真は SP 事業（第二種）としてのガーデニング講習会のスナップです。SP 事業というとなじみやすいようですが、わかり易くいえば剪定講習会、刈払機講習会、パソコン講習会等の技能介護講習会のことです。

そこで、今回は SP 事業について少しお話をしましょう。

まず、SP 事業は「シニアワークプログラム事業」の略です。

広島県シルバ－人材センター連合会以下県シ連という）が厚生労働省の委託を受けて高齢者の雇用と就業機会の拡大を図るための技能講習で、平成十年から実施しています。

この事業は、第一種と第二種があり、第一種は県シ連が主催で行いますが、第二種は各活動拠点センターが主催で実施します。

わが江田島町シルバ－人材センターは昨年度第二種講習会を十九回行い、のべ四百九人が参加しました。

講習会名（ソーイング四回、パソコン三回、刈払機二回、剪定二回、ガーデニング二回、介護二回、料理四回）

結果については、技能の向上、就業機会の拡大につながっていると思います。

最後に次の言葉で終わりにいたします。

“菊根分け、あとは自分の土で咲け”



# 平成十五年度五月期通常総会もたれる

## — 十四年度事業報告、決算と新役員承認 —

決算総会が平成十五年五月二十九日（木）午後一時から町役場三階大会議室で開催されました。会議は事務局長の開会のことばで始まり、式次第にそって進められ、午後二時二十分に閉会となりました。

理事長から十四年度を振り返って次の事が述べられました。

「事業収入が七千五百万円で、前年より減少した。

その理由は①海自術科学校の見学者の案内の中止②経済不況による仕事の申し込みの減少があげられる。

次に昨年は当シルバー発足十周年祝賀行事を実施した。

新年度の目標に次の三つをかかげ、実績を上げたいと思う。①会員を増やす②仕事を増やす③安全に努める。そして地域社会に奉仕する考えでいる。」

来賓の曽根町長は、今回、力強い支援で当選させてもらった。これに答える為に、協見をせずに、真っ直ぐに進むつもりでいる。シルバーセンターが地元の活性化



平成十四年度事業報告、該年度収支決算について承認を求められ、異議なく承認し、最後に理事及び監事を選任して休憩に入る。その間別室で、山佐理事長、森副理事長、そして、常務理事に事務局長を指名して、総会に報告紹介の後、総会を閉会しました。

休憩後、株式会社キャップ広島営業所所長森田ひとみさんの「さわやかな対応は接遇から」と題して、記念講演を一時の間半聴しました。

一、第一印象ですべ

に貢献している。これに町も加わり、共に働いて、生活の向上に努めたい。

次に、伊藤町議会議長は、一町民のメッセージをこずかつたので、それを読み上げると言って、当シルバーの仕事振りを絶賛された。

吉田担当課長の紹介もなされた。

その後、議長に下谷源蔵さんを選び、定足数（一五九）、鷺部地区の梶岡節夫、切串地区の樽本将仁さんを議事録署名名人に選んで、議題の審議に移りました。

てが決まる

『て・手・あし・足・き・服装・め・目・たい・態度』

①、「て」…手の位置

自然に前で組むか、軽く両脇につける。後ろで組むのは休め。

②、「あし」…足の位置

かかとをつけ、足先を広げる。

③、「き」…（着）身だしなみ

その場にふさわしい、清潔感のある、動きやすい服装で。

④、「め」…目（視線配り）

目は心の窓。

二、あいさつの効用

三、笑顔の効果

四、あなたの職場の中、生活の中のプラスストロークとマイナスストローク

おじぎはあいさつが終わって腰から上体を少し早めに倒し、ゆっくり上体を起して、相手の目を見ることがこれを全員で何回もやりました。

講演の内容を紙面の関係で詳しく紹介出来ませんが、総会の資料の中にあるのでご参照ください。

M・K記

## 平成十四年度三月期通常総会おわる

三月期の総会は予算総会と称し、会員を代表して、各班長さんで構成されます。

一、日時 平成十五年三月二十八日（金）午後一時三十分

二、場所 江田島町シルバークラブ研修室

（敬称略）

### 新役員紹介

|      |       |     |
|------|-------|-----|
| 理事長  | 山佐 一男 | 弘 正 |
| 副理事長 | 森 修一  | 井 信 |
| 常務理事 | 板垣 宝潤 | 須 博 |
| 理事   | 山佐 清一 | 久 須 |
|      | 新本 幸江 | 井 川 |
|      | 松谷 小  |     |
| 監 事  |       |     |

お世話になりました（退任された役員）

|     |        |       |
|-----|--------|-------|
| 理 事 | 村井 義郎  | 岡本 光子 |
| 監 事 | 森下 光太郎 | 下野 一彦 |

事務局長の開会のことばで開会され、総会次第にそい、理事長のあいさつがなされました。

次に、江田島町長代理佐原助役が、当センターの会員が地元江田島町の活性化に貢献していることに対する謝辞と、今年の発展を念じる旨のメッセージを代読されました。その後、鷺部地区の梶岡節夫さんを議長に選出して会議を進めていきました。

定足数は百九十人、小用地区の樫野昭人さん、切串地区の樽本将仁さんを議事録署名名人に選出し、三議案を審議しました。提案は① 百五十万円の補正予算の承認、② 十の重要項目の平成十五年度事業計画の承認、③ 一億四百四十一万三千円の予算を、拍手で承認、午後二時二十分に閉会しました。



## 役員研修・班長研修

## 多度津町及び仲善広域シルバーセンターを訪ねて

三月十七日、十八日、多度津町シルバー人材センター及び仲善広域シルバー人材センターを訪ねました。

十七日の午後は多度津町。

「町の人口は二四、一二〇人。昭和二十九年から三十一年にかけ近隣の四町と合併。四十五年、臨海工業地帯の造成が始まり、現在、工業都市の色合いをもつ町に発展。

農業特産品はデラウエア、ミニトマト。

シルバークラウドの沿革は平成元年、ミニシルバーとして発足、五年、シルバー人材センターとなり、十年、ワークプラザ完成。

現在、年額三％アップを目標に、就業開拓に力を入れている。町当局、町内企業の協力により、昨年度比九・九％の伸びを示している。公共は前年度比一二・二％、企業は一一・四％、一般も伸びている。再来年度、剪定枝のチップ化をめざし、町は工場設置を予定している。安全就業については専門の推進委員会を設け、力を入れて取り組んでいる」と、シルバーの紹介がありました。

## 質疑

問 剪定、草刈り作業などは  
答 剪定、草刈り、草抜きは時期、金額、作業従事者は前年のデータ

にもとづいて決めている。草刈りでは、ネットは使わず、車は移動してもらってから作業を始めている。草刈機はセンター持ち。備品は予算のゆるすかぎりセンターで用意している。ハサミは個人持ち。

問 剪定枝のチップ化は

答 町の事業で行う。町は一億円近い機械を予定しており、十六年度に稼働の予定。

問 就業の実務は

答 費用は会員が現場を見て見積りを出し、前金でもらう。高額の場合は手付け、内金でやっている。地域班の単価は一時間六三〇円。

問 年会費は

答 五〇〇円、それに作業にかかる事務費として七％、これで何とかやっている。なお、現在、力を入

れていることは事務局の充実とリーダー（班長）の育成。

## 仲善広域

十八日午前

十時、善通寺市の広域本部を訪ねました。



多度津町シルバーにて

弘法大師生誕の善通寺のある自衛隊の町。仲善広域シルバーは管内に一市四町をかかえている。

設立は昭和六十一年、平成五年に一市四町で広域シルバーとなる。理事長は善通寺市長、副理事長は四町長で、総会、役員会の日程調整、討議資料の作成が主な任務だが、五首長の日程調整がむずかしく、広域の厳しさがあり、こじんまりと単独でいったほうがよいのではないかと思

っている。

現在、受注高は八億三千四十一万円余りで、それに独自事業を加えると収入は九億円余。受注件数は九千件で昨年度より三〇〇件増えているが、収入は減っている。

広域の事務局はここの一つで、事務的処理を行い、実務は各センターで行っている。将来、職域班を作っていきたくと考えている。

会員と事務局の連絡は世話人が行い、仕事がきたら事務局に連絡が来る。管工事、剪定の注文は多い。作業器械の管理はできるだけ会員にお願いし、任せている。これを始めてから会員が仕事をとってくるよう

になり、仕事が増えてきている。草刈機、脚立などは個人持ち、注文者には機械使用料として千円もらっている。作業は五十分仕事をし、十分休憩をとるようにしている」

## 質疑

問 剪定に従事する人は  
答 毎年注文のある所には、前の年

仲善広域シルバーにて



に行った人、初めての所は訪問するが、例年の所は行かない。

問 安全対策は

答 安全講習を年一回行っている。

また、草

刈りは、ネットは張らず、車は必ず移動させてもらっている。高い所の作業は出来る人にやってもらう。以前は死亡、怪我が多かったが、研修や会員の自覚によって、事故の件数は半減している。

問 独自事業は

答 チップをやっているが、もうかっていない、年間四十万円から五十万円の赤字が出ている。しかし、この事業は将来伸ばしていきたい。発酵させ肥料とするために十二箇所くらい山がつくれる広場が必要と考えている。

問 就業時間は

答 朝八時から午後五時。五十分作業、十分休憩でやっている。ただし夏場は朝七時から、午後の三時から四時までとしている。

研修を終え、善通寺に参詣、そのあと別子銅山の採掘跡を見学、帰途につきました。



## 風景画の 場所あてに興じる



三月九日、中央公民館まつりの取材で公民館に行きました。シルバークロニクルの展示場はいつもの通りエレベーターの通路。

「お客さんはぼつぼつです」と担当の下平さん、つけ加えて「武道館に美術作品が展示してあり、その受付け、案内に山佐さん達が行っていますよ」と。そこで武道館に急ぎました。

受付け、案内の担当は山佐勇さん達、正装の三人。「十時にテープカット。十六時までです。来館者に渡す出品目録に印刷ミスがあり、その訂正に時間をくいました」とのこと。

朝早かったせいか、来館者はまばら。それでも展示された絵画をていねいに鑑賞され

## 支える仲間

アジは三枚におろす。キュウリ、大根はせん切り、ゴマ

のゴマあえ、かき揚げ、茶碗

次いで、今日の献立に移りました。献立では

「アジのたたき、ホウレン草

をすること。野菜をしっかりと

「肥満は成人病の原因となる。食

「最初に肥満防止についての話。

講師は栄養士の山根さんです。

公民館で恒例の料理講習。参加者は

女性を含め二十七人でした。

「茶碗むしがむずかしかった

「茶碗むしは熱を加えるとふくれる

「他のことに気をとられて茶碗むし

「茶碗むしがむずかしかったと



「魚を上手にさばかれる人が多いの

「魚を上手にさばかれる人が多いの

「魚を上手にさばかれる人が多いの

「魚を上手にさばかれる人が多いの

「魚を上手にさばかれる人が多いの

「魚を上手にさばかれる人が多いの

「魚を上手にさばかれる人が多いの

「魚を上手にさばかれる人が多いの

「魚を上手にさばかれる人が多いの



と感想を述べてくれました。

「魚を上手にさばかれる人が多いの

「魚を上手にさばかれる人が多いの

「魚を上手にさばかれる人が多いの

「魚を上手にさばかれる人が多いの

「魚を上手にさばかれる人が多いの

「魚を上手にさばかれる人が多いの

「魚を上手にさばかれる人が多いの

「魚を上手にさばかれる人が多いの

「魚を上手にさばかれる人が多いの

「魚を上手にさばかれる人が多いの

「魚を上手にさばかれる人が多いの

## 伐った後の処理が大変

三月二十四日、長浜にある青年の家の海水浴場付近の枯れ松の伐採作業現場に行きました。

七人の仲間が二組に分かれ、一組は海辺、あと一組は丘の頂近くで作業していました。

海辺では一人が枯れ松を伐り、あとの二人は砂浜に散っている小枝や松葉を掃き集めていました。

枯れ松を伐る時は、木の幹にロープをかけ、浜の二人がそれを引っ張り、一人が伐る。このやり方は上の組も同じでした。

「仕事は今日で三日目。今までに十二、三本伐りました」

「今朝から三本伐った、ここは汐の関係で、ひいた時にしか伐れませ

「伐るのにはわけはないが、運ぶのが大変」見れば護岸の上に四、五十センチに切られた幹が並べられて

「焼却場は三十センチに切り、割っていないと取ってくれない。枯れ木なので割るのがむずかしい。どうするか、事務局で検討中とのこと

「波打ちぎわには風に吹き寄せられた発泡スチロールの破片や竹が浮かんでいます」

「海水浴が始まる前に浜辺の清掃がありますね」

「でもね、折角きれいにしても次の朝にはまたいっぱいゴミが打ち寄せ





「一日に八本から十本くらい伐る。倒れる方向を考慮して伐らないと」と言いながら「この木を伐るよ」と言いながらロー

ておる。まるでさいの河原です」  
下の組と別れて上の組へ。上の組はちょうど休憩中。私も話に加わりました。  
「枯れ松の伐採には度々行つたが、こんなのは初めて。昨年の秋に来た時にはこんなに枯れていなかったのに。秋から冬にかけて枯れたのじゃないね」  
「伐る木には番号が貼ってあるのだが、番号のない木も相当ある。それも伐ってしまうが」  
「松喰い虫の穴が幹にあいている。これでは枯れるわけだ」  
「この場所はオリエンテーリングの場所。きれいにしなければ…」  
作業にかかります。一人が伐採、他の三人は小枝集め、この区域だけで百三十本伐るとのことです。

## われら町を

プをもつて木の幹にかけます。他の三人はロープを持ち、引っ張る用意。チェンソーがはいり、木が傾くと三人が力を合わせて谷にむけて倒れないようにします。  
「チェンソーを使っていると油が散ってズボンにつき、なかなかとれない」  
「お怪我のないように」と言いつて現場を去りました。

### 屋根の塗装には二日かかる

五月十三日、江南の田尾さん宅の庇の塗装があるというので出かけました。作業現場がわかりにくく、二人に尋ねてやつとたどり着きました。私が付いた時は会員三人が一階の庇に上がって、ペンキのはげた所をワイヤブラシやヘラを使って落としているところでした。  
「作業は一日で終わりますか」と尋ねると、  
「いや、二日はかかる。ペンキのはがているのを落として雑布で拭き、きれいにしてさび止めを塗る。その上にペンキを塗るので」  
庇は家ぐるりをとり囲んでいました。  
右手にブラシかヘラを持ち、左手に小さなほうきを持ち、ペンキを落としては掃き落とす作業です。  
「今日は暑くなくていいですね」

「こんな日和だったら楽だね」

「ところで、塗装は何年に一回やるのですか」

「それは家の者が決めることで、シルバ―では決められないよ」  
全くそのとおり、バカなことを聞いたものです。

「お気をつけて…」  
の声をかけ、現場を去りました。

### 家が広いので大変

五月十三日の十時過ぎ、宮ノ原の水原さん宅の引越しの後の掃除があると聞き、出かけました。

私が着いた時、二人の女性会員は二階の東向きと北向の窓の拭き掃除中、一人は窓を閉め、外（ベランダ）からホースで水洗い中。

「ホースが短かったので自宅から持ってきたのですが、蛇口に合わなくてよく外れます」  
と言いつてながら水を流します。

いま一人は北向きのサッシの敷居部分を水を流して拭いている最中。「端の所の土埃りがとりにくくて」と言いながら、何度も雑布を洗って



は拭いています。  
「背が低いので、ナゲシや電灯のサは脚立をたててやらないと…」  
見れば低い脚立が階段の上り口に置いてあります。

「家が広いので大変。二日で掃除を終えることになっているのですが」  
仕事の手を休めず話してくれます。  
「押入れの棚はマイペットで拭きました」  
仕事は実についていい。見ているうちに網戸や窓ガラスがきれいになります。

この家を借りる人はさぞ気持ちがいいだろうなと思いつながら辞去しました。



### ようこそ新しい仲間みなさん

―新しく入会された方々―

敬称略

八木 次郎 (中央)  
佐藤 孝夫 (中央)  
沖元 清 (津久茂)  
松崎 譲二 (宮ノ原)  
久保田 敏行 (中央)  
鍛冶中 綾子 (中央)



# 職域座談会

## 運転班

### 乗車するお年寄りに話しかけ、 乗り降りを手助けしている

五月二十一日午前十時、運転班の仲間に集ってもらい、話し合いをもちました。参加者は遅れて参加された方を含めて六人、全員が保育所児、お年寄りの送迎にたずさわっていました。

#### 運転の経験を生かして

最初に山佐理事長の「いろいろな話を聞かせてください」のあいさつのあと話し合いに移りました。

**司会（森）** 今日参加が五人で、話し合いにちょうどよい人数なので、ざつぱらんに日頃の思いを話してください。まず、自己紹介ののち、入会の動機などを。

**古本** 保育所児童の送迎をやっていた人が体をこわしてやめたので、やってみないかと誘われて入会。現在、保育所児の送迎と差須浜、切串間のバスの運転をしています。

**久留須** 入会して三、四年になります。定年退職後、第一内燃機械に勤め、その後、畑仕事をしていたが、他の人と話す機会が無いので何とかと思っていたところ、シルバーがあると知り、運転の仕事をしたくて入会しました。

**篠田** 日新製鋼に勤めていて定年退

職。家でぶらぶらしていても仕方がないので、会社で運転の仕事をして

いたから、それが生かせればと入会

**二井** ポストに入会の誘いがはいつていたので電話をし、事務局を訪ねて説明を聞き、勧められて入会、役場の当直の仕事は最初はしましたが、私の希望は介護の仕事をするのでしたので、講習を受け、三級の資格をとりました。いまは病気のお年寄りの送迎をしています。

**石井** 神戸でタクシーに乗っていて定年で江田島に帰り、シルバーのあることを知り、神戸では医師会の寝台車の運転をしたこともあるので、小松さんに相談したら、運転の仕事もあるのではないかと言われ入会。九年になります。

#### 冬場には屋外駐車場で 困った

**司会** 運転の仕事は人の命を預っているので安全運転第一と心掛けておられると思います



が、仕事の面で困ったことはないですか。

**篠田** 保育所児の送迎にはよく乗ります。乗る時はオイル、冷却水は必ず見るようにしています。ただ、冬場、エンジンがかからない時があります。そういう時は石井さんに聞いています。事務局の方でも駐車場のことやオイル、冷却水の交換などの調整を行う窓口を設けてほしい。車についても、長年使っているので、トラブルがおきることあります。

**司会** 運転前の点検は大事なことです。それを事務局に連絡することも。

**篠田** 班長さんに連絡すればよいと思うが。

**司会** 運転班は七人ですね。

**石井** 冬は凍って、エンジンがなかなかかからない。はじめは武道館の駐車場に入れていたが、出されて困った。今は入れるようになったが。

**事務局長** 保育所の送迎は朝が早いので、困ったことがおきたら事務局に連絡してください。

**中村**（担当）いまは年間を通して入れていますね。車の状態をできるだけ事務局に知らせてほしい。でないと対処できないから。

**篠田** 冬場、車のフロントガラスの氷をとかすのに七、八分かかる。

そのためバッテリーがあがり、困ることがあります。

#### 保育所児の送迎は安全第一で

**司会** 保育所児の送迎で気をくばっていることは

**篠田** 発車の時間まで待ち、遅れる子をつつかどうかは先生の指示によります。

**石井** 秋月は去年は十四人、今年は七人、子どもが少なくなっています。

**久留須** 今は全員、シートベルトをさせて安全第一に気をつけています。

**中村** 送迎のない時は、前日の夕方、連絡が事務局にあります。

#### お年寄りの送迎では、乗り降り に手をかけ、声をかけている

**古本** 切串・差須浜間のバスに乗るお年寄りは早くから待っています。

乗り降りの時は声をかけ、手をかけています。シートベルトをかけることも。時間どおりに運行しています。（一日二往復）。

お年寄りの世話をするのは楽しい。お年寄りからは感謝されるし、まわりの人から「ええことをしているな」と言われると、本当に嬉しい。

**二井** ヘルパーと患者さんと私の三人で病院への往復。車中ではいろいろな話をして明るい雰囲気をつくるようにしています。通院される方の方まで迎えに行き、帰りはたいいスイーパーでの買い物につき合っ



で送り届けます。週に一回だけですので、楽しい送迎にしようと心掛けています。通院にタクシーを使うと往復四、〇〇〇円かかると聞き、この制度はいいなと思います。

**久留須** 私は役場から各出張所などへの事務連絡、出張所などから役場への届け物や連絡の仕事と、週一回、リハビリに通う人の送迎をしています。その車のハンドルのトラブルがあつて困ったことがあります。また、機能訓練の車はリフト車で、これがよくトラブルをおこします。

**司会** そういう車は新しいのにかえるよう役場に言ったら。危険ですよ。

**事務局長** 自分で歩いてみたい、買い物をしたいという思いが、お年寄りや患者さんにはある。週一回の送迎を楽しみにしていますよ。

**司会** 福祉関係の送迎、援助、これはシルバ－の会員が運転するのがいちばんだと思います。

**久留須** お年寄りは車の乗り降りの時、はやくしようとするので、「ゆっくりしなさいよ」と言つてあげると、とても喜んでくれます。

**中村** バスの送迎には、「家の前で停めてくれ」、とか、坂道の途中で「停めてくれ」、と言われて困ることがあるようです。

**司会** 風呂の送迎では、何回も同じことを言わねばならないことがあるようです。でも、歳に免じて我慢しているのですね。

## 運転する人達と事務局が話し合いの場をもとう

**篠田** 運転する者同士がお互いに連絡をとるようにした方がよいのでは。また、運転する人は、車の燃料は意識を持つて補給することが大切だと思います。石井さんはきちんとしておられますが。それと、複数の人が乗る車では、整備や燃料の補給などをする責任者を決めておくとういと思ひます。

**司会** 班長さんと担当の中村さんとかきちんと連絡がとれるようにしたら。

**中村** 班長さんや役場との連絡はきちんとするようにします。

**司会** プールの送迎では



**篠田** 以前は児童をプールに送った後、役場にもどつていたが…。

**中村** 万一、事故があつた時のことを考えた学校からの要請でプールに待機するようになったのです。

**日報に書く走行キロは最終メーターでよいのでは**

**篠田** 日報に走行キロを書く時に最終メーターを記入するのは…。

**事務局長** 車を使用した人が書かない時があるようですが、そういう時は空欄にしておいたら。

**中村** 日報に記入するのは最終メーターでよいと思うが、このことは役場に言っておきます。

**篠田** 保育所、プールの送迎などは書かなくてもよいのでは…。

**中村** 役場に聞いてはつきりさせましょう。

**司会** 管理をするのは役場でしよう。きちんとしてもらわなくては。

**司会** 今日はとてもよい話し合いだったと思います。そこで、これから定期的に事務局と運転班の会合をもつたらどうですか。運転班の人達同士、また、事務局との意志疎通が出来るようになるので…。

**中村** そのようにしましょう。

**全員 賛成**

**司会** 忙しい中、熱心な話し合い、ありがとうございました、これで終わります。

(記録、下谷)

## 事務局だより

会員証を発行します

|                                                  |                |     |           |
|--------------------------------------------------|----------------|-----|-----------|
| 会 員 証                                            |                | 第 号 | 写 真       |
| 氏 名                                              | 年 月 日 生        |     | 3.0×2.5cm |
| 住 所                                              | 〒 市 区 町 丁目 番 号 |     |           |
| 電 話                                              |                |     |           |
| 上記の者は当シルバ－人材センターの会員であることと証明する。                   |                |     |           |
| 発行日 年 月 日<br>発行所 社団法人 江田島シルバ－人材センター<br>理事長 山根 一男 |                |     |           |

希望者に対し、会員証を発行します。事務局まで申し出てください。

なお、申し出の際に、写真(たて3cm・よこ2.5cm)一枚をお持ちください。

この会員証は、一般作業就業者で草刈機を使用の人は、燃料購入の際に、提示すれば、センター価格で購入できます。また、全国シルバ－人材センター事業協会優待割引制度指定宿泊施設の利用の際にも必要です。





## 投稿

「神様、仏様、  
シルバー様」

安全推進員 中村 博政

昭和三十年代、プロ野球西鉄ライオンズの黄金時代に「神様、仏様、稲尾様」と言う言葉が流行しました。西鉄のエース、稲尾投手が、連日連夜、完投にリリーフにと大活躍して、勝利に貢献しました。ファンは大変に喜び、稲尾投手が登板する度に「神様、仏様、稲尾様」と叫び、その労苦に感謝すると共に、その勇姿を称えたのです。

現在、江田島町も、高齢化と過疎化が進み、三人に一人は六十歳以上です。また、一人暮らしの方が多く居られます。シルバーセンターの受注票を見ますと、「畑の草刈り」、「みかん畑の手入れ」、「家の周辺の清掃」、「室内の雑仕事」、「樹木の剪定・刈込み」等、旦那さんや子どもさん達が一緒に住んで居れば簡単に出来る仕事の依頼が多くあります。町行政も通常業務で一杯、企業はやらない。町民の方はシルバーを頼っています。

会員の皆さんが、親切に、丁寧に誠心誠意の仕事を行えば、町民に大きな喜びを与え、強い信頼を得る事が出来ます。

今、江田島町シルバー人材センターの活躍する時です。  
安全・迅速・責任感を持って仕事

をやりましょう。そうすれば、町民がきつと喜んで、手を合わせて、つぶやくでしょう。

「神様、仏様、シルバー様」

## シルバーは楽し

加藤 孝右

東北生まれの私は、若かりし頃、ラブレター書きの名人？だったらしい。青春時代、毎日のように頼まれ、セッセ、セッセと一回も逢った事もない友人の恋人のために書いて、結



高齢者の健康管理シリーズ 17

## 目が見えにくくなるのは、老眼のため？

中高年になると、「目がかすむ」、「以前に比べて見えにくくなった」ということが増えてきます。これは、年をとり、老眼になったからなのでしょう。

目には、様々な病気が隠されています。その一つが白内障です。白内障は、目の中の水晶体というレンズが、加齢や、何らかの原因で白く濁り、光の通りが悪くなる病気です。そのため、ものを見るうえでいろいろな障害が起こってきます。

白内障は、年齢が高くなるにつれて増えてきます。四十歳くらいから発症する人もおり、八十歳以上の人は、症状の違いはありますが、ほとんどの方が白内障を持っています。国内での白内障の患者は、一〇〇〇

婚まで結びつけた事が想いだされる。あれから約半世紀、縁あってこの江田島に根をおろしたが、風の便りも絶えはて、今はどうしている事やら？「会者定離」、いつかは必ず別れると言われるが、シルバーセンターに入会して、共に仕事をしていると毎日楽しい。雨でも降って仕事が休みとなると、なんとなく淋しい限りだ。シルバー会員は、皆んな朝が早い。九時始業というのに、八時前にはシルバーセンターに来て、作業の準備をしている。一段落すると井戸端会

万人と推定されています。

白内障の症状としては、目がかすむ、まぶしく感じる、暗く見えるなどです。白内障の種類や、水晶体の濁りの程度により症状はさまざまです。治療としては、濁った水晶体を取り除いて、人工の眼内レンズを入れる手術があります。手術の時期としては、以前はかなり見えづらくなってから行っていました。

現在は「まぶしくて見えない。運転免許の更新が出来ない」など、日常生活や仕事に不自由を感じた時が手術の時期の一つの目安となっています。

すべて老眼のせいにするのではなく、目の病気にも注意することが大切です。

議ならぬドラム缶会議？ 作業の話から始まって、趣味の話題に花が咲く。野菜作り、魚釣り、はてはパソコンまで。情報収集には最高の集いでもある。

女性の話が出てこないのは、年齢のせい？年齢と言え、今では、手紙を書く事もなく、すべてEメールや電話で済む時代となり、何か書けと言われても、頭も手も思うように働かない。今ではラブレターを書いた昔が懐かしい。

八時半ごろになると会員の一目散に作業現地向う姿は、昔の恋人に逢いに行く姿に似て、青春を謳歌しているようだ。

今日も一日「安全に」

## 編集後記

会員の皆さんの投稿、本当にありがとうございました。会員さんが日頃思っておられること、私はこうしていますというような内容を寄せてくだされば広報紙の内容も豊かになり、お互いの親しみも増し、知識も増えます。

仲善広域シルバーでの研修は実に豊かで、運転班の座談会では、話が途切れることなく、皆さんが日頃の思いを話してください、班と事務局、班員同士の話し合いを持つという新しい提案も出るなど、本当に有意義な会でした。参加された皆さん、ご苦労さまでした。